

平成30年11月19日

箕輪町議会議長 木村 英雄 様

福祉文教常任委員長 釜屋 美春 印

箕輪町議会（委員・議員）派遣結果報告書

箕輪町議会議員の派遣等実施要領第5条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

研修名	福祉文教常任委員会行政視察
研修の期間	平成30年10月16日（火）～18日（木）
研修の場所	○福島県・西会津町 ○茨城県・益子町 ○栃木県・牛久市
成果 （具体的に）	<p>○西会津町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の健康管理を行う「在宅健康管理システム」等、保健・医療・福祉に関する施策について ・人口6,400人、高齢化率45%と高齢化が進んでいる西会津町は診療所が1カ所で、遠い所は35キロ離れている。食生活改善推進委員や健康運動推進員の養成や、健康の意識を常に持つまちづくりを、行政と町民との協働で進めている現状を学ぶことができました。 <p>○益子町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てにおける不安や孤立感から親の支援を行うシステム「ノーバディ・パーフェクトプログラム」導入の状況。 ・子育て世代包括支援センターの活動と課題 ・子育て世代に対する各種補助金制度など。子育てに細やかな施策の現状を学んだ。 ・施設見学として、益子町こども子育て支援拠点「ましっこハウス」を視察しました。 <p>○牛久市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動店舗による買い物支援など、区・社協・ボランティア・市民等が支え合い活動でコミュニティの場の創出事業が活発に行われている様子をお聞きしました。 ・基礎学力の向上や学習習慣の定着を図る「うしく放課後カップ墊」の効果や課題についてお聞きしました。
委員会名 派遣議員名	福祉文教常任委員会 釜屋美春、大槻金吾、向山 章、唐澤千洋、小出嶋文雄 松本五郎、唐澤 敏

【委員の感想】

西会津町

- 高齢化率が45%を超える状況下、保健・医療・介護に係わる町民の健康管理を行う「在宅健康管理システム」の構築に力を入れてきた。CATVのネット網による、双方向での健康情報データの利活用に成果が見られた。
- 食生活改善推進員の育成・養成により町民の健康推進を図るも推進員の高齢化により減少。若い方の育成を課題としている。
- 平成6年から自宅に居ながら、医師、保健師の指導が受けられるシステムを導入した。血圧・脈拍測定・心電図・体温・体重を測定して送信し、保健師、医師が解析しメッセージ、始動をする方法。
箕輪町への導入は、CATV普及率から普及が難しいと思うが、血圧測定の習慣化や検診率の向上は学ぶところがある。
- 脳卒中死因の多いことから減塩対策に取り組んできた成果が出ている。
長野県も早くから減塩対策に取り組んできており、佐久総合病院が「農村医学」として取り組んだ歴史的経緯がある。
当町でも老人保健制度時以降には取り組みが見られた「健康まつり」的取り組みが近頃薄れており一部を除き健康への気風が低調化している。視察地は健康づくりへの土壌がある。当町はシステム化が欠けていると感じた。
- 運転免許自主返納者に対し、1人1回、3万円のバス・タクシー券・商品券の支援を行っている。

益子町

- 子育て世代包括支援センターの立ち上げなど、育児・子育て環境の整備においてみるべきものがある。「新ましこ未来計画」の策定など、育児・子育て政策方針が確立している。合計特殊出生率も上昇している。
- 子育て世代の各種手当が充実。中学生の子ども医療費の完全窓口無料化・妊娠22週時点で3万円・チャイルドシート購入補助・益子町子育て応援手当として18歳までの子ども1人あたり年間1万円の地域通貨券を支給。
- 「ノーバディズ・パーフェクトプログラム」は1回6コースで行われ、養成講座を受け資格を取得したファシリテータ・保健師・看護師・看護栄養士が参加し、子育て中の親を支援するプログラムを行う。
- 「ましこっこハウス」は大変充実している。17時以降は学習スペースとして開放。
箕輪町の子育て支援センターの現状は兼用施設であることから、専用施設への移行が課題であると感じた。

牛久市

- 「買物支援・支えあいのまちづくり推進協議会」の活動にみられるように、高齢者福祉分野や教育分野における、地域の人的資源を活用した「市民参加のまちづくり」政策の成果が出ている。
- アンケートでは実際に品物を見て買い物がしたいとの声が多かったことから、推進協議会を立ち上げた。買い物に不自由している方々を移動店舗という形で、行政と地域の皆さんが一緒に行く姿が良く伺えた。
- 東京近郊など、都市部では人口急増でありながら高齢化が進んでいる中、視察地では介護ボランティアなど市民参加がうまく進んでいる。箕輪町は各課ごとの施策は

できていても横断的、面的取り組みに課題があると感じる。

- 「うしくカップ塾」は放課後教室とは違い、学習支援、地域とのつながりの方法など工夫されており、参考にする必要があると感じた。
- 人材確保について牛久市と比較し箕輪町では人材確保が難しいと感じた。